

2015 年第 3 回日本地球化学会評議員会 議事録

日時: 2015 年 9 月 15 日(火) 15:00-19:00

場所: TKP 横浜駅西口カンファレンスセンター ルーム 4

出席: 川幡会長、山本副会長、野尻副会長、山岡、鍵、南、石橋、折橋、原田、益田、塚本、鈴木、川口、角皆、奈良岡の各評議員、オブザーバーとして高橋 TF リーダー、清水監事

欠席: 佐野、平田、岩森、大河内、小畑、寺田、日高、藪田の各評議員、小木曾編集長

1. 審議事項

1.1. 2種類の基金設置について

1) 冠基金

- ・名称は「日本地球化学会命名基金」とする。
- ・基金委員会を設置する。

2) 少額寄附金基金

- ・名称は「日本地球化学会サポート基金」とする。
- ・当面は鳥居基金の継続運用とする。
- ・今年の年会懇親会から寄付を受け付けるが、今年度は一般会計への寄付金となる。
- ・従来の鳥居基金の募集は 2016 年度までとし、運用規定の変更については、野尻副会長が作成した案をもとに 2016 年第 1 回評議員会で議論する。

1.2. 新しいタスクフォースの設置について

TF4: 国際委員会

- ・設置が承認された。
- ・引き継ぎ評議員会までに人選を行う。

TF5: 法人化検討委員会

- ・設置が承認された。
- ・引き継ぎ委員会までに人選を行う。

1.3. 総会式次第

配付資料とあわせて確認された。

1.4. 次期評議員会への引き継ぎ事項

- ・IAGC との連携についてコメントがあり、文章を修正することとなった。
- ・年会の開催方式について、文章を追加することとなった。

1.5. ショートコースの引き継ぎについて

新しい体制で、今後も引き続き開催することが承認された。

1.6. 韓国地質学会との MOU について

次期評議員会で早い段階で締結する方向で、山本副会長が窓口となり、準備を進める。10 月に川幡会長と山本副会長が韓国を訪問し、先方と相談して、MOU 締結の前段階まで準備しておくこととなった。

1.7. 微生物生態学会からの共催(協力)依頼について

共催を承諾した。

2. 報告事項等

2.1. 選挙管理委員会

- ・2016-2017 年度役員選挙結果の報告がなされた。
- ・次回の役員選挙について、民間のネット投票システムを利用することとし、規約の改正を評議員会で行い、かつ2016年の総会で会員全員にアナウンスした上で、実施できるようにしたい。10万円以下の場合、ネット投票システムを自作することも考慮する。今回の投票数は200票であったが、投票率を上げることが望まれる一方、開票・集計作業の簡便化、出費を抑えることを留意することとなった。

2.2. 庶務

2.2.1. メール審議・調査

- (1) 2015 年度学会賞等の選考結果(6/21 承認)

2.2.2. 鳥居基金

- ・H27 後期は、申請のあった3件(海外渡航2件、国内集会1件)すべてが採択された(8/17 評議員 ML へ報告)。

2.2.3. GJ 科研費

- ・年会期間中に、横浜国立大学にて実地検査が実施される予定である。

2.2.4. 広告

- ・12月に各企業に請求書を送付する予定である。

2.2.5. 協賛・共催等の予定

[協賛] 日本地質学会第122年学術大会(長野大会)巡検

[協賛] 第3回レーザーワークショップ(主催:レーザー分光分析研究会、2015年9月2日、幕張メッセ国際展示場)

[協賛] 日本地熱学会平成27年学術講演会(主催:日本地熱学会、2015年10月21-24日、別府国際コンベンションセンター)

2.2.6. その他

- ・国立情報学研究所電子図書館(NII-ELS)移行申請書を提出した(8/3)
- ・学術著作権協会の複写使用料分配のための現況調査に回答した(8/20)
- ・2015年度山田科学振興財団研究助成は、不採択となった。

2.3. GJ

2.3.1. 発行・編集状況

(1) 発行状況(8月1日現在)

2015年 vol.49, No.4 が、7月に発行された。No.5 が9月に発行予定。

(2) 編集状況(8月1日現在)

投稿数:531報(+20)、受理:187報(40%)、却下:270報(60%、取り下げを含む)、取り下げ:8報、審査中:66報、AE選考中:0報

2.3.2. その他

- ・インパクトファクター:1.505(2014/2015)、1.942(2013)
- ・塚本 GJ 編集長が次期会長当選に伴い、今期で辞任することを表明した。次期 GJ 編集長には、鍵裕之会員が推薦され、内諾を得るとともに、評議員会で承認された。

2.4. 和文誌「地球化学」

2.4.1. 企画総説・特集企画の募集

A. 企画総説「地球化学の最前線」「授業で教えた地球化学」「最先端の分析・解析法」

B. 特集号の随時募集(年1回に限定しない)

2.4.2. 企画中の特集(12月発行 vol.49, No.4 に掲載予定)

「福島原発事故から4年(仮)」、「Astrochemistry(仮)」、「Early Earth Chemistry(仮)」

2.4.3. 発刊予定

vol.49, No.3(2015年9月末発行予定)

企画総説「地球化学の最前線」1報・受賞記念論文1報・報文1報、博士論文抄録1報・学会ニュース

2.4.4. 編集状況

(1) 受理済:0 報、査読中:6 報(特集総説 3, 報文 2, 総説 1)

(2) 依頼中(総説:1 報、受賞記念論文 2014 年分:3 報、2013-2006 年分:6 報)

受賞記念論文未執筆の方には、時期が大幅に遅れている場合があるので、受賞記念論文の代わりに企画総説の執筆をお願いしたく、複数の執筆候補の名前が挙がった。

2.5. 企画

- ・法人化と関連して、次期評議員会で年会の開催方式について検討してほしいという意見があり、申し送り事項に追記された。
- ・2017 年年会は、関東圏の順番になるので、東工大での開催を打診することとなった。

2.6. 広報

2.6.1. 講師派遣事業について

【平成 27 年実績】依頼のあった学校の件数は 13 校、交通費を希望した数は 1 校、講師が交通費の都合をつけたケースの数は 0 校で、全体として派遣実績は 5 校であった。

2.6.2. JpGU

- ・2016 年 JpGU ブースの予約を行う予定である。

2.6.3. ゴールドシュミット 2015@プラハ

- ・Goldschmidt 2015 において、地球化学会のブースを展示し、GJ や GC ポスターを配布した。また、フィールドトリップのアンケート調査を実施した。
- ・Goldschmidt2015 のブースを訪れて、グッズを差し上げた方々については、会期後半よりグッズと交換に名刺をいただいた。そして名刺のアドレスに、ブースを訪れてくれたお礼のメールをすでに差し上げた。今後、これらの方々には、Goldschmidt2016 に関するメールを継続的に送信予定である。

2.6.4. 年会プレス

- ・2015 年度日本地球化学会年会ウェブサイトを 6 月に公開した。
- ・年会プレスリリース用のハイライト講演の選定や原稿執筆依頼を 8 月末までに行い、報道各社に通知予定である。

2.7. 会計

- ・総会資料に沿って、2014 年度会計決算報告、2015 年度中間報告、2016 年度予算を確認した。
- ・2014 年度会計決算報告、2016 年度会計予算については、別紙参照。

2.8. 会員

- ・会員数、入退会については別紙参照。
- ・年会の新企画として、9 月 17 日の昼に、地球化学メンター懇親会を実施予定である。
- ・2015 年度 50 年会員顕彰者は 13 名となった。
- ・60 歳以上の正会員に対する終身会員移行に伴う会費の減額優遇規定について、Q&A とともにニュースに掲載する。そして、2016 年中頃に、権利該当者であるが終身会員への移行希望がない会員については葉書を送付し、情報漏れのために終身会員とならなかった、ということがないように事務処理することとなった。

2.9. GC

- ・会議開催状況について報告がなされた。
- ・企業ブース誘致(35 万円)が低調なため、5-10 万円の少額寄付をお願いした方が良いのではという意見があった。

2.10. TF1

- ・地球化学に関連する所属機関およびリンク先のリストを作成した。

2.11. TF2

- ・ 2015 年 3 月以降の経過について報告がなされた。
- ・ TF2 の 2 年間の取り組みについては、総会で報告予定である。

2.12. TF3

- ・ 夢ロードマップのポスター原案(プロ向け、一般向け)を作成した。

2.13. 今後の幹事会・評議員会予定

- ・ 2015 年第 4 回評議員会(引き継ぎ評議員会):9 月 18 日(金)12-13 時@横浜国立大学
- ・ 2015 年第 4 回幹事会(引き継ぎ幹事会):11-12 月

(庶務幹事・山岡香子)